

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2008年1月1日 ～ 2018年12月31日の間に、虎の門病院整形外科において人工関節手術を受けられた方

【研究課題名】

人工関節手術周術期における D dimer の血栓症検知能力の検証

【研究の目的・背景】

《目的》

「人工関節置換術後において血中の D dimer という値は血栓の発生をどれだけ検知できるのか？」を調べます。

《研究に至る背景》

手術後の深部静脈血栓は重大合併症の原因となりえます。そのため、そのような血栓が生じやすい手術 — 整形外科であれば人工関節置換術など — では、血中の D dimer という値を測定することで血栓の発生を検知する、という作業が多く施設でとられています。一方、その血中 D dimer は手術でも上昇しやすいことが知られています。そのため術後の血中の D dimer が高いからといって必ずしも血栓の発生を反映していない可能性があります。

このような状況を打開するためにこの研究では、術前と術後の超音波エコーによる血栓検査の結果と血中の D dimer との値の変化を比べ、「人工関節置換術後において血中 D dimer の値は血栓の発生をどれだけ検知しうるのか」を調べます。

【研究のために診療情報解析研究する期間】

2020年1月9日 ～ 2021年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別する

ことができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 整形外科 中村正樹もと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 血液検査データ、診療記録、心電図、下肢超音波検査データ、X 線画像データ、MRI 画像データ、CT データ、薬歴、看護記録。

【虎の門病院における研究責任者】

整形外科 中村 正樹

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族が診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族が診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020 年6月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 整形外科 渡部 紫
電話 03-3588-1111(代表)